

平成30年度

島根大学大学院人文社会科学研究科修士課程

言語・社会文化専攻社会文化コース

(第2次) 入試問題

【 東洋史 】

(私費外国人留学生入試)

注 意

- 1 問題紙 1 ページ，解答用紙 3 枚，下書き用紙 2 枚である。
- 2 指示があってから確認し，解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は，解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙，下書き用紙は，持ち帰ること。

以下の問いに答えてください。なお、問題は1から3まであります。

1

次の2題のなかから、1題を選んで解答してください。なお、解答に際しては、解答用紙に選択した番号を記入してから、解答すること。

- 1) 唐代の国際関係について、従来の研究動向と今後の学界展望を述べて下さい。
- 2) 中華王朝の辺境政策について、自由にテーマを設定して述べて下さい。

2

下記の8つの語句のうちから4つを選んで、解説してください。なお、解答に際しては、解答用紙に選択した番号を記入してから、解答すること。

- 1) 『周礼』
- 2) 西嶋定生
- 3) 関隴集団
- 4) 士大夫
- 5) 白蓮教
- 6) 大運河
- 7) 胡適
- 8) 費孝通

3

次の史料は、紀元前1世紀半ば、内部対立の続いていた匈奴の呼韓邪単于が、自集団の今後進むべき道について、有力者たちと協議している場面です。この史料を読み、下の問いに解答してください（下線部は固有名詞です）。なお、解答に際しては、解答用紙に問いの番号を記入してから、解答すること。

呼韓邪之敗也、左伊秩訾王^(注1)爲呼韓邪計、勸令稱臣入朝事漢、從漢求助、如此匈奴乃定。呼韓邪議問諸大臣、皆曰「不可。匈奴之俗、本上氣力而下服役、以馬上戰鬥爲國、故有威名於百蠻。戰死、壯士所有也。今兄弟爭國^(注2)、不在兄則在弟、雖死猶有威名、子孫常長諸國。漢雖疆、猶不能兼并匈奴、奈何亂先古之制、臣事於漢、卑辱先單于、爲諸國所笑。雖如是而安、何以復長百蠻。」左伊秩訾曰「不然。疆弱有時、今漢方盛、烏孫城郭諸國皆爲臣妾。自且鞮侯單于以來、匈奴日削、不能取復、雖屈疆於此、未嘗一日安也。今事漢則安存、不事則危亡、計何以過此！」諸大人相難久之。呼韓邪從其計、引衆南近塞、遣子右賢王銖婁渠堂入侍。郅支單于亦遣子右大將駒于利受入侍。

(『漢書』匈奴傳より)

(注1) 左伊秩訾王 匈奴における有力者の称号の一つ。

(注2) 兄弟爭國 このころ呼韓邪単于は兄の郅支単于と対立していた。

問1. 大臣たちは、どのように主張していますか。

問2. 大臣たちは、(問1)のように主張する理由をどう説明していますか。

問3. 左伊秩訾王は、どのように主張していますか。

問4. 左伊秩訾王は、(問3)のように主張する理由をどう説明していますか。

問5. 呼韓邪単于は大臣たちと左伊秩訾王、どちらの意見を採用しましたか。